



# K 中 通 信

学 校 だ よ り 11 号  
令 和 4 年 2 月 22 日  
横 浜 市 立 軽 井 沢 中 学 校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

## 春の訪れ

校長 佐藤 由利

『春は名のみ風の寒さや 谷のうぐいす歌は思えど 時にあらずと 声も立てず〜』早春賦(作詞 吉丸一昌 作曲 中田章)という歌の一番の歌詞です。「春とは名ばかりでまだ風も冷たい 谷のうぐいすも鳴こうと思うけれどまだその時ではないと 声もたてない」という意味です。三番までを通して、春を待ちわびる気持ちが6/8拍子の滑らかなメロディーに乗って素直に伝わってくる歌で、毎年この季節になると自然とロずさんでいます。教室のベランダ側の庭には、梅に続いて桜が咲き始めました。校長室の鉢植えも、蕾がいくつも膨らんでいます。まん延防止重点措置が延長され、依然として厳しい状況は続いています。春は確実に近づいてきています。木々や花々の営みにみなさんの成長する姿を重ね、勇気づけられながら過ごす毎日です。

3年生は、昨年秋から本格的に卒業後の進路選択に向けて動き始め、先週の公立高校選抜検査でひと区切りとなりました。進路選択に当たって、自分自身と向き合い、努力してきた日々は、決して楽なものではなかったと思います。けれど、この経験を経て皆さんは、ひとまわりもふたまわりも成長したはず。そんな自分に、自信を持ってください。そして、ここから卒業までの日々は、まさに3年間の集大成。クラスとして、学年として、共に過ごした仲間とどのように卒業式を迎えるか、1,2年生にどんな背中を見せて卒業していくか…、考えながら大切に過ごして下さい。

1,2年生は、今年度のまとめの時期に入っていますが、同時に来年度の校外学習に向けての準備に入っています。1年生は、自然教室で訪れる埼玉県小鹿野町(おがのまち)についてグループごとに調べ学習をし、小鹿野町の魅力についてプレゼンテーションをするそうです。Chromebookも活用して調べた内容をいかに聞き手に伝わりやすく発表するか等々、各グループ、3月4日の発表に向けて協力して準備を進めているようです。

2年生は、東北方面への修学旅行に向けて、震災についての学習と共に、文化や歴史など4つのテーマを設定し、こちらもChromebookを活用しての調べ学習を進めています。自然教室の事後学習では、各自が写真入りのミニレポートをChromebookで作成しましたが、今回は手書きでまとめる予定だそうです。これも、読み手に伝わりやすい書き方の工夫が必要になってきます。どんな冊子が出来上がるか楽しみです。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今号では生徒のみなさん、保護者、地域の方々にご協力をいただいた学校評価のまとめを掲載しています。今年度もコロナの影響を受け、いろいろな制限がある中で教育活動を進めなければなりませんでした。そんな中で生徒のみなさんがその時その時の状況をしっかりと受け止めながら、「今できることに一生懸命取り組む。」ということを実践しようとしている姿は、とても頼もしかったです。その陰で保護者、地域の皆さまには、様々な場面で支えていただいたと思います。ありがとうございました。大変な一年ではありましたが、私たち教職員にとっても生徒にとっても学ぶことの多い一年でした。いろいろな観点からしっかりと振り返り、次年度の教育活動につなげていきたいと思っています。様々な教育活動に対してのご理解、ご支援に感謝申し上げます。